

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6 年 3 月 1 日

事業所名 児童デイサービス ネムの木園

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	共通	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4				
	共通	職員の配置数は適切であるか	4				
	児 発	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4			写真やマークをロッカーや扉に貼り見て分かるようになっている。	
	放 課 後	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4			全てバリアフリーになっている。	
	児 発	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4			活動室、静養室、学習室、リラックルームなど活動に合わせたスペースがある。	
業務 改善	共通	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4			毎月目標の振り返りを行っている。	
	共通	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4				
	共通	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4				
	共通	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			施設内外の研修に参加し、研修資料を職員全員が確認し共有している。	
適切 な 支 援 の 提 供	共通	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			アセスメントを元に計画を作成している。	
	児 発	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4			公園での遊具遊び、個別課題、クッキング、喜悅の製作、地域行事への参加、買い物学習など色々な活動を行っている。	
	児 発	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4				
	放 課 後	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			休日や長期休暇など利用時間の長い日は園外活動や季節の行事を行っている。	

適切な支援の提供	共通	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			全職員で活動内容を話し合い、準備を行っている。	
	共通	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			園外活動、季節の行事や製作、クッキングなどを行っている。 製作に使う主となる材料や展示方法が続かないように考慮して製作を提供している。	
	共通	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1			
	共通	支援開始前には職員間で打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4				
	共通	支援終了後には、職員間で打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	1			
	共通	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			毎日記録をとり、チェックを行っている。	
	放課後	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			半年ごとにモニタリングを行っている。	
関係機関や保護者との連携	共通	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			子どもの様子をよく理解している職員が出席している。	
	児発	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	2	2			
	放課後	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4			年間行事は学校のホームページを確認している。 下校時間は児童によって異なるため保護者から連絡をもらっている。 送迎時に学校での様子を聞いている。 活動内容を写真付きでまとめたネムの木園便りを学校に郵送している。	
	児発	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4			児童デイサービス従業者連絡会に参加している。	
	児発	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3		1	地域の児童センターで遊んだり、児童センターの行事に参加している。	
	放課後	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	3			
	共通	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			毎回保護者に子どもの様子を伝えている。	

保護者への説明等	共通	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			相談があればその都度対応している。	
	児発	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4				
	放課後	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4				
	共通	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			ホームページのブログに活動内容を掲載しており、それをまとめたネムの木園便りを毎月発行し配布している。	
	共通	個人情報に十分注意しているか	4				
	共通	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4				
	児発	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	2		
放課後	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4					
非常時等の対応	児発	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4			契約の際、各マニュアルをお渡ししている。	
	共通	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			年2回、地震・火災の避難訓練に子どもたちと参加している。	
	児発	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	4				
	共通	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	4				
	共通	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			作成したヒヤリハットをファイリングし、誰でもいつでも見られるようにしている。	
	共通	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			年2回全職員が虐待防止研修に参加している。	
共通	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4			身体拘束を行う可能性のある児童の保護者に前もって説明し同意書をいただいている。 身体拘束を行う状況・方法・状態を計画書に記載している。		

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。